

「学校と地域・企業等をつなぐコーディネーターのスキルアップ研修」

下北地区:令和4年6月15日(水) むつ市中央公民館

受講者数20人(オンライン含む)

西北地区:令和4年6月16日(木) 五所川原市中央公民館

受講者数24人(オンライン含む)

1 趣旨

学校・家庭・地域が連携・協働して地域の子どもの育むために、学校と地域住民・企業・NPO・各種団体等をつなぐ教育支援活動コーディネーター等のスキルアップと人財の拡充を図る。

2 内容

【講義・演習】「多様な出会いの場を通じて、一人ひとりが主体性を伸ばせる、力強くしなやかな地域を創ろう」

【講師】 認定NPO法人ハーベスト 代表理事 ^{やまざき}山崎 ^{けんじ}賢治 氏



3 講義要旨

- 子どもたちに何らかのきっかけと、主体者として学べる環境さえ与えれば、彼らは飛躍的に成長する。
- 多様な大人との接触を通じ、障害物を乗り越える”波風体験”を多く経験することが大事な要素になる。
- 1日市内大学を貸し切り、市民講師による100以上の講座を開講し、生徒は興味のある講座に参加できる「キャリアセミナー」は、高校生に自身の生き方や働き方、学び方を考えるきっかけとなる。必要なのは他者との出会い、対話を通じた自分自身の意図への気づきとその探究である。
- 対話とは、意見だけでなく、経験、価値観、感情に焦点を当てる話し方・聴き方である。活発な対話を促すための活動「トークフォークダンス」は、生徒に非常に大きなインパクトを与えている。
- 「キャリアセミナー」で社会人の経験談を聞く意味は、対話によって「自己内省」や「他者への共感」ができることである。

4 アンケート結果 (全35名分)・まとめ

満足	23人	66%	どちらかといえば満足	10人	28%
どちらかといえば不満	2人	6%	不満	0人	0%



- ・子どもたちにより多くの夢、志を持たせてあげるために、私たちが出会いの機会を多く提供していくことが大切だと思った。
- ・たくさんの大人との出会い、対話をすることで子どもたちは飛躍的に成長していくことを考えさせられた良い研修会でした。
- ・今後も地域のため、学校のため、子どものため、活動を続けていきたいと思えます。

アンケートには前向きな感想が多く寄せられ、今後の活動への意欲を高めることができた有意義な機会となりました。ただ、初日にオンラインで参加された2人から、講師の声が聞き取りづらいということで「どちらかといえば不満」の評価をいただいたため、今後に向けてオンライン環境を改善していきたいと思えます。

講義では「キャリアセミナー」など、子どもたちが主体性に学ぶことができるような取り組みは参考になることが多く、「ココロを起動させるキッカケ」となるキャリア教育の在り方や大切さを改めて感じる事ができました。

子どもたちがたくさんの大人との出会い、対話の中で「主体性が育まれていく様子」等を分かりやすく説明してくださり、大変充実した内容となりました。